

# 苫小牧市清掃統計処理システム更新業務ヒアリング実施要領

## 1 目 的

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、苫小牧市清掃統計処理システム更新業務の受託候補者決定のための公募に係るヒアリングを、web会議システムにより実施する。本要領は、実施にあたり必要な事項を定める。

## 2 時間配分

1社あたり40分（提案説明30分、選定委員からの質疑10分）とする。

## 3 日 時

- (1) 令和4年3月30日（水）13時から開始とするが、各提案者のヒアリング実施時刻については個別に通知する。
- (2) 各提案者ヒアリング開始時刻の10分前までには準備を完了すること。なお、ヒアリング開始前に市担当より各提案者に電話連絡を行うので、指示に従ってZoomからヒアリングに参加すること。

## 4 ヒアリングで使用するweb会議システム等について

- (1) ヒアリングはZoomのオンライン会議サービスを使用して実施する。
- (2) 苫小牧市がホスト（主催者）として開催するので、対応可能なweb会議環境を準備すること。
- (3) ヒアリングは、1提案者1か所（1拠点）からの参加とし、同一提案者による複数拠点からの参加は認めない。
- (4) ヒアリング開始前に市担当より各提案者に電話連絡を行うので、指示に従ってZoomからヒアリングに参加すること。
- (5) 提案者側の通信環境、PC等機器の不具合によるトラブルによるプレゼンテーション、質疑回答の中断等があった場合、説明時間、質疑時間の延長は行わない。

## 5 その他

### (1) 補完資料について

説明にあたり、補完的な資料の提出は認めない。ただし、プレゼンテーションにおいて、その内容を画面共有するものはこの限りではない。その場合、提案書の内容から大きく逸脱することがないように注意すること。

### (2) 画面表示について

説明中の画面表示については、提案者の判断で説明員とプレゼンテーション資料（画面共有）を任意で切り替えることができる。

### (3) 接続テストについて

令和4年3月30日（水）午前中に、各提案者を対象とした接続テストを実施する。提案者ごとにテスト時刻は別途通知する。接続テストについては、ヒアリングの説明員に限らず3名以上で対応することができる。

なお、接続テストにあたり、画面共有の確認を行うため、テスト表示用のプレゼンテーション資料（内容は任意）を用意すること。

接続テストにおいては、①接続状況、②市及び提案者双方の画像並びに音声、③画面共有切り替え等について確認を行う。

(4) その他

応募者から選定委員に対する質問は認めない。

(5) 最終総合評価

プレゼン終了後、選定委員会を開催し、評点付けを実施し、受託候補者を選定する。

この結果は後日、提案者に通知する。

## 苫小牧市清掃統計処理システム更新業務 評価基準

### 1 評価にあたり

本業務は、ごみ排出量やし尿処理量等のデータを適正かつ効率的に統計処理するため、清掃統計処理システムの更新を行うものである。

更新業務を行うに当たっては、本市が行う統計処理の内容を理解し、データ移行したうえで、稼働後の保守も実施可能な事業者でなければならない。

このことから、価格のみによる競争ではなく、専門的な技術及び経験を有する業者を公平・公正に評価し、受託候補者を選定する必要があるため、事業者の提案内容を評価する。

### 2 選定基準及び評価基準

本プロポーザルにおける提案に係る採点は、以下の項目について行う。

評価項目に対する評価点（60点）を設定し、苫小牧市清掃統計処理システム更新業務選定委員会の各委員の評価点の合計を合計評価点とする。

なお、合計評価点の6割を最低基準とし、これに満たない提案者は、受託候補者に特定しない。

評 価 項 目	配 点
(1) システム更新について	20
①業務スケジュール 令和4年10月からの稼働に間に合う提案を評価する。加えて並行稼働期間を設定するなど、システム移行におけるリスク等を考慮した業務スケジュールとなっている提案を評価する。	12
②統計処理の内容 統計処理により集計する内容や出力帳票のわかりやすさを総合的に評価し、より良いものを高得とする。	4
③提案するOS 提案するOS及び保守の可否を評価する。	4
(2) 連携について	20
④作業日報Excelの取込機能 新規機能として開発する作業日報の取込機能について確認し、操作が簡便なものや機能に優れた提案を高得とする。	12
⑤西町し尿処理システムとのデータ連携方法 データ連携方法について、現状USBによると比較し評価する。	4
⑥計量棟とのデータ連携方法 データ連携方法について、現状アナログ回線と比較し評価する。	4

評価項目	配点
(3) 価格について	8
⑦更新業務の費用 提案限度額 4,072,000 円税抜を上限とし、提案内容と価格を総合的に評価し、より良いものを高得とする。	4
⑧保守及び賃借業務の費用 予算額を参考に、提案内容と5年間の総額を総合的に評価する。	4
(4) 実績及び保守体制について	12
⑨本市への導入実績 過去5年間における本市へのシステム導入実績を評価する。	4
⑩地方公共団体への導入実績 本市を含む地方公共団体ごみ広域処理を行う事務組合を含むに対する、類似システムの導入実績を評価する。 ただし、導入年度が古い場合が考えられることから、保守業務受託状況を含めて総合的に評価する。	4
⑪障害発生時のサポート体制 担当者・技術者等の派遣体制を総合的に評価する。	4
合計	60

### 3 優先交渉権者の選定

各評価項目の合計点数の最高得点者を優先交渉権者とする。

なお、選定委員会で選定した事業者が、採用の辞退その他の理由で契約できない場合は、次点者を交渉権者とする。

同点の場合は、上記選定基準のうち、①から④及び⑪の項目の合計点が高い事業者を優先交渉権者とし、それも同点の場合はいくじ引きで優先交渉権者を決定する。